

野球部の裏側を追う



〜へばりつき新聞部〜



速報新聞

キマグレ

発行所

彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号



3月19日、この日野球部は宿舍の「チサンホテル新大阪」でディナーを食べた。各テーブルごとにバイキング形式での食事、先生も「ちゃんと考えてくれてメニューには魚や鶏肉、野菜ないて良いです」と満足そうである。いろいろな料理が並んだ。食する。選手たちもたくさん食べておなかいっぱい。



楽しそうな食事風景

食事後には滋賀県高野連の会長さんと理事長さんが来られ、全国の高校生の思いが集中しているの頑張り、と激励の言葉を述べられた。



足湯で恍惚の表情を浮かべられる江竜先生とゆかいな仲間たち。

食事の際に野球部の新聞記事を見る選手と山根先生、村中先生



あった。その後、選手や監督は宿舍から少し離れた場所にある銭湯の「ひなたの湯」でしばしの休息をとった。前日は部屋内の風呂で済ませたということで、サウナも含めた4種類のお風呂を堪能して、選手や先生方も「ちよ〜きもちい」と恍惚の表情を浮かべられた。その日は日替わりでコエンザイムQ10入りのお風呂が

主将の新谷直弘君から「全国でも数少ない甲子園出場を誇りになった」選手も少なからずいた。思って試合したい」との言葉がよかった。

宿舎が清潔ー心が清潔

宿舎が邪魔じゃな

野球部が宿泊しているお部屋は、一体どうなっているのだろうか。それは、写真の通りだ。ベッドが置いてあるシングルルーム。生活面に関して、「泊まらせていただいているという謙虚な気持ちを持ってサービ

スガしやすいうちに整理整頓する」ということが指導されているとのこと。また新谷直弘主将のお婆ちゃんから「宿泊期間が長くなり、生活リズムがずれると本来の力が発揮できない。起床の時間を同じにしたりリズムが整うこと



音楽を聴きながらリラックス。宿舎での一場面。